

2) 産科管理

1. 産科管理における助産婦等の役割についての文献的研究

妊娠の異常発現予知と対策を立てるためには産科管理全般の向上が必要である。そのためには産科管理にあたる医師のみでなく助産婦等の教育の質的向上や職能を明確にする必要があると思われる。本研究初年度の取り組みとしてまず産科管理における助産婦等の果たす役割やその教育等について文献的検討を加えた。

(1) マスコミ関係出版物

母子保健関係の情報は様々なマスメディアにより提供され一般向け雑誌にかぎっても36誌に上る。妊婦やその夫を対象としたBALLOON(月刊27万部)、ナタール(25万部)、マニティー(20万部)、P. AND(17万部)の4誌の販売部数89万は全国の出産数139万に比べて極めて大であると言える。その内容の概略を表1にまとめた(表1)。その内容の是非は別の問題として母子保健や妊娠分娩に関する情報に対する需要が大きいことを示す。その背景としては核家族化や少産傾向等であろうが今後正確な情報提供者として助産婦等が果たすべき役割は重要と考えられる。

(2) 助産婦教育・助産婦業務

助産婦教育の現状としては平成元年現在教育施設として大学5校、短大専攻科23校、専修学校等52校の計80校が存在し卒業生の合計は1486名であった。これら教育施設のうち大学院を設置するものは博士課程2大学、修士課程4大学であった。体制上の問題点としては専修学校という形態が多い、専任教官が少ない(専修学校は概ね2)、卒業教育の体系がなく教育の機会が少ない等が考えられる。これに対して看護制度検討会報告書(1987, 1988)では重要性を増す助産婦業務に鑑み教育制度の改訂等の必要性を指摘している。

助産婦業務については産科学、産科管理の高度化専門化また開業助産婦減少による助産婦の存在

様式の変化等より少なからぬ改訂が必要と考えられる。実際これからの助産婦の在り方、助産婦業務については10年以上前より医師の側、助産婦の側より数多くの提言がなされていた(表2)。これらの多くは助産婦による妊産婦のスクリーニング、健康教育、カウンセリング等助産婦の役割を強化しそれに対応した助産婦教育レベル向上が必要としている。

これに関連して国外の現況も文献的検討を行った(表3)。各国により制度は異なり様々な問題があるがプライマリーケアは助産婦が行う等業務内容にも相違が存在する。

2. 産科管理における医師・助産婦等の役割についてのアンケート調査

産科管理における医師・助産婦等の役割に関する研究班では国内の開業助産婦を含めた分娩を取り扱う主な施設すべてにおいて医師と助産婦を主な対象としてアンケート調査を実施し産科管理における助産婦等の果たす役割の実態、問題点を明らかにする。これにより妊娠分娩管理における助産婦等の役割に改善の必要があるか。地域助産婦活動に改善の必要があるか。産科管理における医師・助産婦の役割分担に改善の必要があるか等の研究目的には具体的解答が得られる。その成果に基づき助産婦等の教育および再教育に大幅な改善を加えれば産科管理はもとより母子保健の向上をも期待できる。我々産科管理グループは妊婦管理グループ(代表望月教授)と共同で添付資料の如くアンケートを実施する予定である(資料参照)。

表 1. 一般向け雑誌の内容概略

1. 医療保健に関する記事
 - 妊娠, 出産, 産褥の経過
 - 生活指導
(栄養, 肥満, 衣服, 性, マイナートラブル, スポーツ, 薬, 胎教)
 - 出産準備
(呼吸法, 補助動作, 分娩体位, 夫立ち会い, ラマーズ法, アクティブバース)
 - 新生児の生理と育児
(うつぶせ寝)
 - 疾患に関するもの
(妊娠中毒症, 流産, 難産のすべて: さかご・双子・帝王切開・陣痛促進剤)
2. 体験・手記
読者や有名タレント芸能人の出産, 育児体験
3. 妊娠, 出産, 育児用品の紹介
4. 施設, 病産院の名簿リスト
(ラマーズ法, 夫立ち会いを実施している病院名簿)

表2. 助産婦業務等に関する文献

著者名	テーマ	雑誌名	Vol	No.	発行年	発行所	概要
小林 隆	助産婦の新しいあり方	産と婦	46	5	1979	診と治	スクリーナーとしての助産婦の必要性
玉田 太郎 他	80年代の助産婦活動を展望する	助雑誌	34	1	1980	医学書院	生殖医学の使命 自然分娩のすすめ 他 スクリーニングの重要性 これからの助教育
Dorothea M. Lang	アメリカの母子保健の動向と助産婦に寄せられる期待	助雑誌	34	1	1980	医学書院	アメリカの助産婦小史 消費者パワーの台頭と助産婦職の復興 変わりゆく医療の流れと今後の展望 他対談
品川 信良	医療機関内での助産科試	助雑誌	32	10	1974	医学書院	助産婦の業務について
品川 信良	これからの助産婦とその役割	ペリネタル	5	7	1988	メディカ	施設内での業務の再検討を
西島 正博	大病院に勤務している産婦人科医の立場から	ペリネタル	"	"	"	"	妊産婦の思われること 分娩介助について 心拍数陣痛図の評価
武智 忠	中病院に勤務している産婦人科医の立場から	ペリネタル	"	"	"	"	病院内助産婦業務は拡大していくのか 助産婦を必要としている役割は?
林 藪夫	病院を開業している産婦人科医の立場から	ペリネタル	"	"	"	"	産院からみた母性保健指導のあり方と助産婦の役割、とその期待度
山西みな子 他	地域で主に保健指導を行っている助産婦の立場から	ペリネタル	"	"	"	"	開業の現状と今後の開業の展望
大西タカコ	助産所を開業している助産婦の立場から	ペリネタル	"	"	"	"	開業の現状の中から、今後に向けて助産婦業務のあり方・業務の確立など
吉崎 宏	助産婦教育を担当している医学系教官の立場から	ペリネタル	"	"	"	"	これからの助産婦とその役割 助産婦教育課程の改善 業務の改善等
藤原 てる	施設ではたらく助産婦の役割	ペリネタル	"	"	"	"	施設における助産婦の業務の展開について・インタビュー
竹村 喬 他	助産婦業務の現状と問題	ペリネタル	3	8	1984	メジカ	助産婦業務の実態調査から 現状からみた問題点と対策について
南部 春生	母乳と助産婦業務	ペリネタル	"	"	"	"	母乳についての指導を進めるための必要な問題と解説
山村 博三	病院における助産婦業務	ペリネタル	"	"	"	"	助産婦教育と今後の助産婦のあり方を述べている
品川 信良	これからの助産婦	ペリネタル	"	"	"	"	諸外国における助産と助産婦について 日本の産科医療の趨勢と主な問題点
可世木辰夫 他	助産婦外来や不妊指導も	ペリネタル	"	"	"	"	病院開業院長の現状と展望 助産婦外来はいち早く開院(取材)
竹村 秀雄 他	医療中心型分娩管理体制から保健指導中心型体制	ペリネタル	"	"	"	"	小坂産院の現状 周産指導部の開設 等 (取材)

表 3. 外国の制度・問題点

	制 度	現 状 ・ 問 題 点
ア メ リ カ	certified nurse midwife	広い国土, 貧富の差……地域医療 高度医療, 専門化 保健指導, 教育, 避妊 若年者 (18歳以下が6%) 医療訴訟
イ ギ リ ス	certified nurse midwife certified midwife	高度医療, 専門化 地域医療, 保健指導, 教育 IVF-ET
カ ナ ダ	none	医師のみが法律上分娩に携わる 保健指導
オ ラ ン ダ	Dutch maternity services	家庭分娩が40% 地域医療, 産褥, 育児のケアー Antenatal assessment
ス ウ ェ ー デ ン		primary care
オ ー ス ト ラ リ ア		チーム医療 搬送問題 primary care
イ ン ド	nurse-midwife	primary care
ネ パ ー ル	nurse-midwife assistant nurse-midwife	primary care 人手不足
中 華 民 國		病院出産のため midwife が無くなるか

資料-2 産科管理における医師・助産婦の役割等に関するアンケート

1. 貴施設について（共通部分）

2. 正常産婦の分娩管理における医師・助産婦の業務内容について

- 1) 産科病棟は、…………… []
(1. 産科単科病棟 2. 産科婦人科混合病棟 3. 他科との混合病棟)
- 2) 陣痛室のベッド数 …………… []
- 3) 分娩台数 …………… []
- 4) 時間外分娩を担当する医師の当直体制は、…………… []
(1. 産科医師の院内当直 2. 産科医師の宅直 3. 他科医師の院内当直)
- 5) 時間外分娩を担当する助産婦の勤務体制は、…………… []
(1. 常に各勤務帯に最低1人の助産婦がいる
2. 分娩時には助産婦が時間外勤務をする
3. 分娩時に助産婦が勤務しているとは限らない
4. その他……………)

以下の質問では、特にリスクのない妊婦が分娩のために入院したときの通常業務として、貴院で決められている原則をお答えください。

- 6) 分娩時入院の最終判断は誰が行いますか。…………… []
(1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 7) 入院時の診察は誰が行いますか。…………… []
(1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 8) 入院した助産婦について、…………… []
(1. 全例受持ち助産婦を決める 2. 症例により受持ち助産婦を決める
3. 受持ち制度はない)
- 9) ドップラー法による分娩監視装置は、…………… []
(1. 全例入院時から使用する 2. 全例分娩室に入ってから使用する
3. 症例に応じて使用する 4. 使用しない)
- 10) ドップラー法による分娩監視装置を使用する場合、
その装着は誰が行いますか。…………… []
(1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 11) 児頭誘導心電計による分娩監視装置は、…………… []
(1. 全例使用する 2. 症例に応じて使用する 3. 使用しない)
- 12) 児頭誘導心電計による分娩監視装置を使用する場合、
その装着は誰が行いますか。…………… []
(1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)

- 13) 心拍数陣痛図の評価は誰が行いますか。…………… []
 (1. ある程度助産婦が判断する 2. 必ず医師が判断する)
- 14) 上の質問で1.と答えた場合、どの程度の診断が可能ですか。…………… []
 (1. 徐脈、頻脈の有無程度 2. 心拍数のパターンまで診断できる)
- 15) 母体酸素投与、血管確保などの緊急処置は、…………… []
 (1. 助産婦の判断で行うことがある 2. 医師の判断でのみ行う)
- 16) 分娩時の医師・助産婦の立ち会い…………… []
 (1. 医師は必ず立ち会う 2. 助産婦は必ず立ち会う
 3. 医師・助産婦がともに必ず立ち会う 4. その他)
- 17) 正常分娩の介助は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 決まっていない)
- 18) 会陰切開は誰が行いますか。…………… []
 (1. 必ず医師 2. 状況により助産婦)
- 19) 会陰切開創、会陰裂傷の縫合は誰が行いますか。…………… []
 (1. 必ず医師 2. 状況により助産婦)
- 20) 臍帯血の血液ガス分析は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 21) 新生児の鼻口腔内吸引は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 22) 新生児仮死に対する蘇生術は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 23) 褥婦の回診は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師のみ 2. 助産婦のみ 3. 看護婦のみ 4. 医師と助産婦
 5. 医師と看護婦 6. 助産婦と看護婦 7. 医師と助産婦と看護婦)
- 24) 退院後の日常生活、新生児の管理、家族計画などについての
 褥婦に対する保健指導は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 25) 褥婦の退院診察は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 26) 正常新生児の回診は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師のみ 2. 助産婦のみ 3. 看護婦のみ 4. 医師と助産婦
 5. 医師と看護婦 6. 助産婦と看護婦 7. 医師と助産婦と看護婦)
- 27) 新生児のガスリー検査のための採血は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
- 28) 新生児のビリルビン検査は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)

- 29) 新生児の退院診察は誰が行いますか。…………… []
 (1. 医師 2. 助産婦 3. 看護婦 4. 決まっていない)
3. 助産婦の研修について
 新しい医療技術や新しい薬剤の登場に伴う周産期管理の進歩に対応するためには、学校教育だけでは不十分であり、卒後研修や学会活動が重要であると考えられます。そこで貴院における助産婦の研修の現状について下記の質問にお答え下さい。
- 30) 産科の症例検討会は行っていますか。…………… []
 (1. 助産婦・看護婦だけで行っている 2. 医師を交えて行っている
 3. 行っていない)
- 31) 院内で、産科管理に関する助産婦の研修会・勉強会等を行っていますか。…………… []
 (1. 行っている 2. 行っていない)
- 32) 上の質問で 1. と答えた場合、助産婦 1 人あたり 1 年に平均何回位、
 研修会等に出席しますか。…………… []
- 33) 院外での産科管理に関する研修会や教育講演には、助産婦 1 人あたり
 1 年に平均何回位出席しますか。…………… []
- 34) 1989 年度に貴院の助産婦から、産科管理に関する演題を何題、
 学会発表しましたか。…………… []